

2023 年度研究者交流支援制度実施報告書（当初 2021 年度採択、新型コロナの影響のため
2023 年実施）

経営学部専任教授 塚本一郎

当初、2021 年度秋学期研究者交流支援制度採択により、Chih Hoong Sin 氏（当時 Traverse 勤務）の招聘受け入れは 2021 年度に予定されていた。しかしながら、コロナ禍等の影響による査証（ビザ）取得の困難性などを理由に、2023 年度への繰り延べが認められ、実際には、2023 年度に受け入れを実施することとなった。

招聘期間は、2023 年 5 月 20 日～2023 年 5 月 27 日であった。主な研究活動は、受け入れ責任者の塚本との研究上の打ち合わせと、2023 年 5 月 25 日（木）4 限（15:20-17:00）「Social Impact Investment」におけるゲスト講義であった。今回の招聘目的は、英国ロンドンを拠点にインパクト投資、特にソーシャル・インパクト・ボンド（social impact bond:SIB）の組成・運営支援、第三者評価の第一線で活躍されている Sin 氏をお招きして、その知見を明治大学の教育研究活動に生かすことにあった。5 月 25 日の経営学部公共経営学科専門科目「Social Impact Investment」の授業におけるゲスト講義はその趣旨で実施された。当該科目は、招聘責任者の塚本担当の英語で実施される講義であり、日本人学生の他、留学生や交換留学生が 20 人程度履修していた。毎回の出席者の大半は日本語の話せない交換留学生であった。

2023 年 5 月 25 日の当該科目の授業については、Sin 氏のゲスト講義という形態で実施された。当日の出席者は履修学生 15 名、外部参加者 1 名（別の回のゲスト講師の有限責任監査法人トーマツの山崎遙氏）の計 16 名であった。当日は、英国のソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の近年の動向と課題を中心に講義がなされ、特に交換留学生との間で英語による活発な質疑・意見交換が実施された。授業終了後も、特に交換留学生を中心に質問に来る学生が多く、非常に示唆に富む講義内容であった。

Sin 氏が滞在中、塚本と山崎氏（山崎氏も Sin 氏と以前から交流有り）との間で打ち合わせを 2 回ほど実施し、研究上、特に英国における SIB 調査に関する貴重な助言を得ることができた。その助言は、2023 年 11 月開催の ARNOVA（アメリカ NPO 学会）年次大会における塚本と山崎氏との英国 SIB に関する共同研究成果発表のための英国調査（オンライン）の研究対象選定に活かすことができた。